



# 和歌山市

和歌山市健康局 健康推進部

保健所保健対策課

〒640-8137 和歌山市吹上5丁目2番15号

電話 073-488-5117

FAX 073-431-9980

## 本市のデータ

### 市制施行

明治22年4月1日(当時面積5.517平方キロメートル 51,603人) 平成9年4月1日中核市移行

### 面積

208.84平方キロメートル (平成27年4月1日現在)

### 人口

355,686人 (令和元年10月1日現在)



## 本市の概要

紀伊半島の北西部に位置し、北はみどり豊かな和泉山脈ののどかな山並みに囲まれ、西は風光明媚な紀淡海峡に面し、紀の川の河口に位置する和歌山県の県都です。

## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

庁内の全事業を「生きる支援」の観点から体系的に見直し、既存の事業を最大限に活用した取組を推進し、「誰も自殺に追い込まれることのない、いのち支える和歌山市の実現」を目指します。

【数値目標】本市の自殺死亡率は、各年により増減があり、単年の自殺死亡率を基準とした目標値では実情を反映できない可能性があるため、和歌山県自殺対策計画の数値目標と同様に、直近5年間の自殺死亡率の平均値をもとに数値目標を設置します。

#### 自殺死亡率

実績値(2012～2016年の平均)	19.1
目標値 2023年	16.0以下
目標値 2028年	13.4以下

### <具体的な取組み>

#### これまでの主な取組み

平成22年、自殺対策緊急強化事業に着手し、庁内の関係部署による「自殺防止対策庁内連絡会議」を設置するとともに、普及啓発やうつ病圏に特化した対面相談、人材育成等への取組みを開始。

平成24年、G-Pネット構築会議を立ち上げ、一般診療医と精神科医の連携強化に努める。現在はG-Pネット定着促進会議として年1回開催。

平成28年、若年層の自殺対策として、教育委員会との連携による教職員等を対象としたゲートキーパー養成研修を開始するなど、より当市の現状に即した事業を展開。

平成30年、4月「和歌山市いのち支える自殺対策推進協議会条例」を施行。以降、4回の「和歌山市いのち支える自殺対策推進協議会」を開催し、平成31年3月「和歌山市いのち支える自殺対策計画」を策定。

## <具体的な取組み>

### 令和元年度の主な取組み

#### ○人材養成事業

職員出前講座・ゲートキーパー養成研修等  
市民団体、市職員、専門職団体(教職員、介護職、薬剤師会等)を対象にゲートキーパー養成等に関する出前講座、G-Pネット定着促進会議、研修会等を開催。

#### ○対面相談事業

##### うつ病夜間相談（精神科嘱託医による相談の実施）

【詳細】主な対象者：就労者及び主婦等日中の相談が難しい方  
実施日：毎月第2水曜 18:00～20:00

#### ○普及啓発事業

##### ・いのちをつなぐポスターコンクールの実施

いのちの大切さ、人とのつながりの大切さが伝わる作品を募集。  
作成を通して、作者が命について考える機会となるよう、  
申込用紙には作品に対するメッセージを記入。

##### ・自殺予防啓発ポスターの配布

ポスターコンクール市長賞作品、抑うつ症状、相談窓口を掲載したポスターを、医療、福祉、行政、教育それぞれの機関へ配布

##### ・うつ病予防啓発ポスターの配布

うつ病について、セルフチェックリスト、相談窓口を掲載したポスターを作成し、健保協会を經由し企業へ配布

##### ・メディア啓発

広告掲載：自殺対策強化月間中に4回実施  
民間広報紙(市内約85%の世帯へ配布)利用  
内容⇒和歌山市の自殺者数等データ、自殺のサイン、相談窓口  
ラジオ放送：自殺対策強化月間中の月～金 1回につき約10分を毎日放送  
テーマ「自殺対策の取り組み・うつ病・ストレスケア・睡眠」など  
ツイッター、フェイスブック：街頭啓発や相談窓口を掲載

##### ・街頭啓発

場所：市内ショッピングセンター等  
実施日：自殺対策強化月間内の土曜もしくは日曜  
内容：自殺予防や対策に関する各種啓発物の配布  
協力団体：和歌山県精神保健福祉センター、  
和歌山のいのちの電話協会

#### ○若年層対策事業

教育委員会と連携し、教職員向けの研修会を開催。  
市内各中学校等に、若年層向けパンフレットを作成し、送付。

#### ○自殺未遂者支援事業

救急病院から、本人・家族の同意に基づき連絡票の送付があった対象者について、相談支援を行う。

